

## スーダン南部人道支援方針

2009年2月20日  
ジャパン・プラットフォーム事務局

### 1. 支援期間

2009年4月1日より、原則3年間とする。但し、その間、1年毎に翌年度の支援のあり方について見直しを行う。

### 2. 支援分野

帰還支援（一時滞在センター運営等）、水・衛生、基礎保健、教育、生計向上の5つを優先課題とする。また、左記支援の過程において、コミュニティの組織能力強化や社会的弱者の保護等のソフト事業を並行して実施することが有益である場合には、これを奨励する。

### 3. 主な支援地域及び裨益対象

アッパーナイル、ジョングレイ、中央エクアトリア、東エクアトリアの計4州に支援の重点を置く。主な裨益対象は、帰還民、帰還民受け入れコミュニティ及び国内避難民とする。

### 4. 事業期間設定

過去のモニタリング結果等を踏まえ、スーダン南部における行政機構や基礎インフラの過度の不足、ロジスティクスの困難さ、雨・乾季の周期に配慮した期間設定とする必要がある。よって、事業計画策定に際しては事業毎に判断し、特例として最長1年間までの事業期間設定を認める。

### 5. 予算

事業予算は政府支援金を財源とし、各年度5億円程度を目安とする。

### 6. 運営・管理

JPF事務局として、スーダン南部の中心であるジュバに現地駐在員を配置し、連絡・調整及び広報業務を行う。具体的には、JPFの現地代表として現地政府や他の援助関係者との関係強化、現地情勢や支援動向の調査、外部アクターへのJPFに関する情報の発信等を担う。

### 7. 2009年度の計画

支援分野	参加団体（予定）
帰還支援	ADRA
水・衛生	AAR、ADRA、CARE、JEN、PWJ、WVJ
基礎保健	AAR
教育	ADRA
生計向上	(WGにて確認)
社会的弱者支援	JAR
コミュニティ能力強化支援	JCCP

但し、上記以外の参加団体による申請も受け付ける。

(了)